

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書(PDF)をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
この時計の機種番号は、「H864」です。
本取扱説明書(PDF)以外に、右の二次元コードまたは <https://citizen.jp/support/guide/html/h864/h864.html> からWebマニュアルをご覧ください。
モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。この取扱説明書に記載されていない外装機能の操作やその他については、シチズンのサポートページ(<https://citizen.jp/support-jp/>)をご覧ください。



安全にお使いいただくために —必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、9、10ページを必ずお読みください。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

この時計の特長

- 電波時計**
世界4地域5局の送信所からの電波を受信して、正確な時刻・カレンダーに自動で修正します。
- エコ・ドライブ**
光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。
- ワールドタイム**
世界の26のタイムゾーンを選んで時刻を表示することができます。
- UTC表示**
北半球板の矢印が常にUTC(協定世界時)を指します。
- パーペチュアルカレンダー**
2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。
- Perfex(パーフェックス)**
衝撃や磁気による秒針のずれを防ぎ、正確な時刻表示を保ちます。

・「エコ・ドライブ」「Perfex(パーフェックス)」は、シチズン独自の技術です。

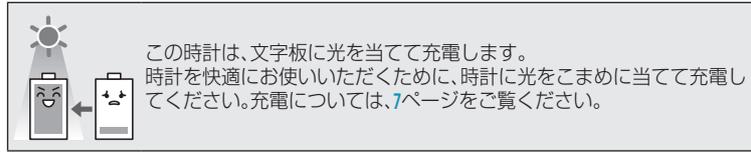
もくじ

ご使用になる前に.....	2
バンド調整について.....	2
保護シールについて.....	2
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた.....	2
各部の名称.....	2
充電量を確認する.....	3
ワールドタイム.....	3
タイムゾーンの設定を確認する.....	3
タイムゾーンの設定を変更する.....	3
サマータイム.....	4
サマータイム設定を確認する.....	4
サマータイム設定を変更する.....	4
電波を受信する.....	5
前回の電波受信の結果を確認する.....	5
電波を手動で受信する.....	5
電波受信について.....	5
電波受信の種類.....	5
電波を受信するときは.....	5
受信が困難な場所.....	5
標準電波について.....	5
時刻・カレンダーを手動で合わせる.....	6
充電について.....	7
充電不足になると(充電警告機能).....	7
環境ごとの充電時間の目安.....	7
パワーセーブ機能.....	7
困ったときは.....	7
基準位置を確認・修正する.....	8
オールリセットする.....	8
エコ・ドライブ取り扱い上の注意.....	9
防水性能について.....	9
お取り扱いにあたって.....	9
保証とアフターサービスについて.....	10
製品仕様.....	10

ご使用になる前に

時計をご使用になる前に、必ず以下の3つのことを行ってください。

- 1 現在の充電量を確認する(3ページ)
- 2 タイムゾーンを設定する(3ページ)
- 3 電波受信の結果を確認する(5ページ)



バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

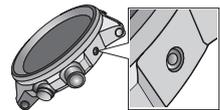
■ ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかり締める

■ 隠しボタン

ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

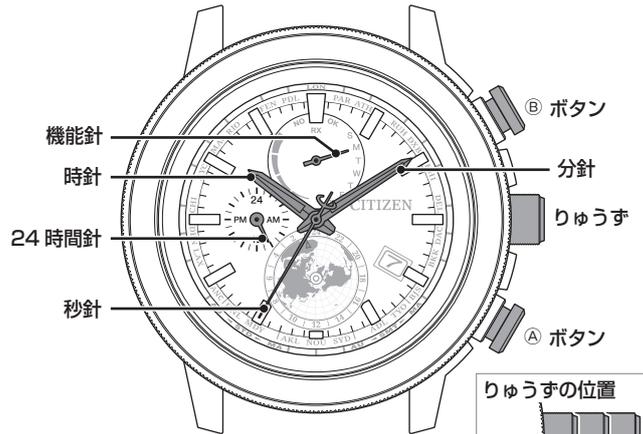


・金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

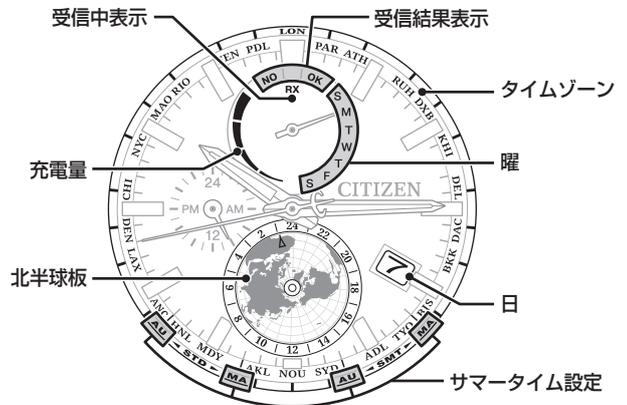
各部の名称

・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

針とボタン



表示

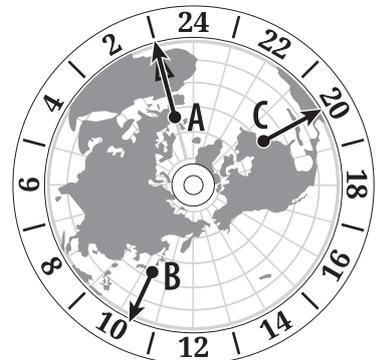


・ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

■ 北半球板について

- ・北半球板には北極点を中心とした北半球の地図が描かれています。
- ・北半球板は時計と連動して反時計回りに1日1回転します。
- ・北半球板だけを個別に調整することはできません。
- ・北半球板の矢印は常にUTC(協定世界時)を指します。
- ・北半球板を使って北半球各地のおおよその標準時刻を知ることができます。例えば北半球板が下のような位置にあるとき、各地のおおよその標準時刻は以下のようになります。

- A(ロンドン):午前1時ごろ
- B(東京):午前10時ごろ
- C(ニューヨーク):午後8時ごろ



※北半球板から読み取れる時刻はあくまで参考としてください。ある地点の実際の時刻は、属するタイムゾーンおよびサマータイム実施の有無によって決まります。タイムゾーンの境界は経線や国境線と一致することもあります。歴史的、政治的、実際的な理由により、必ずしもそうではありません。実際のタイムゾーンの境界は、多くの場合、政府または国際協定によって定められています。また、サマータイム制度を採用する国や地域では、日光を最大限に活用するために特定の期間に時刻を進めている場合があります。



充電量を確認する

充電について詳しくは、「充電について」(7ページ)をお読みください。

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 右上の③ボタンを押す
機能針が充電量をレベル表示します。
- 3 右上の③ボタンを押して終了する
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で通常表示に戻ります。

■ 充電量のレベル表示

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	180~130日	130~70日	70~2日	2日
表示の意味	十分充電されています。 安心してお使いいただけるレベルです。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。
				すぐに充電してください。

・充電量レベルが「1」または「0」のときは、機能針は常に充電量を指します。

ワールドタイム

この時計は、UTC(協定世界時)基準の26のタイムゾーンを設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

・設定するタイムゾーンによって、標準電波の受信局が異なります。

タイムゾーンの設定を確認する

- 1 りゅうずの位置を②にする
 - 2 右下の④ボタンを押す
秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。
例:タイムゾーンが+9に設定されているとき
- 
- 3 右下の④ボタンを押して終了する
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で通常表示に戻ります。

・タイムゾーンと秒針の位置の対応については、表をご覧ください。

タイムゾーンの設定を変更する

- 1 りゅうずの位置を①にする
秒針が、現在のタイムゾーンの設定を表示します。
- 2 りゅうずを回して、タイムゾーンを選ぶ
・タイムゾーンと秒針の位置の対応については、表をご覧ください。
・現在と異なるタイムゾーンを選ぶと、それに合わせて時計の針/表示が動きま
- 3 りゅうずの位置を②にして終了する
通常表示に戻ります。

■ タイムゾーンと秒針の位置について

秒針の位置	タイムゾーン	表記	受信局
0秒	0	LON	ドイツ
2秒	+1	PAR	
4秒	+2	ATH	
7秒	+3	RUH	◆ドイツ
9秒	+4	DXB	◆中国
11秒	+5	KHI	
14秒	+5.5	DEL	
16秒	+6	DAC	
18秒	+7	BKK	
21秒	+8	BJS	中国
23秒	+9	TYO	日本
25秒	+9.5	ADL	◆日本
28秒	+10	SYD	
30秒	+11	NOU	
32秒	+12	AKL	
35秒	-11	MDY	◆アメリカ
37秒	-10	HNL	
39秒	-9	ANC	
42秒	-8	LAX	
44秒	-7	DEN	
46秒	-6	CHI	アメリカ
49秒	-5	NYC	◆アメリカ
51秒	-4	MAO	
53秒	-3	RIO	
56秒	-2	FEN	◆ドイツ
58秒	-1	PDL	

- ・表中のタイムゾーンの数値は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- ・「受信局」に◆マークのついているタイムゾーンでは、受信範囲外のため実際には標準電波は受信できません。サマータイムと標準時刻の切替は、手動で行う必要があります。
- ・電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。



サマータイム

■ サマータイムについて

サマータイムとは、夏期の時刻を標準時刻よりも進め、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

- ・サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- ・サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

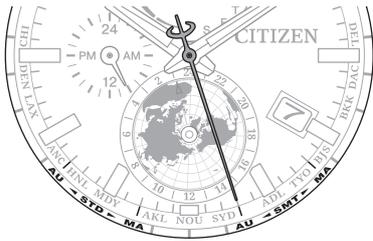
■ サマータイム設定について

- ・標準電波には、サマータイム信号(サマータイム実施期間中かそうでないかを伝える信号)が含まれています。
- ・この時計は、サマータイム信号を受信して、サマータイムと標準時刻の表示を自動で切替えることができます。
- ・サマータイム設定は、タイムゾーンごとに行います。

サマータイム設定を確認する

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。
例: 「SMT AU」に設定されているとき



秒針の表示	現在の表示時刻	サマータイムと標準時刻の切替
<p>SMT MA</p>	サマータイム	手動 ・サマータイム信号の内容にかかわらず、サマータイムを表示します。
<p>SMT AU</p>		自動 ・サマータイム信号が標準時刻を知らせると、自動で標準時刻表示(STD AU)に切替わります。
<p>STD MA</p>	標準時刻	手動 ・サマータイム信号の内容にかかわらず、標準時刻を表示します。
<p>STD AU</p>		自動 ・サマータイム信号がサマータイムを知らせると、自動でサマータイム表示(SMT AU)に切替わります。

2 りゅうずの位置を①にして終了する

通常表示に戻ります。

サマータイム設定を変更する

標準電波が受信できる地域で使用していて、すべて自動で設定して欲しい	→ 「SMT AU」または「STD AU」を選んでください。
サマータイムが導入されている地域で使用していて、標準電波が受信できない	→ 「SMT MA」または「STD MA」を選んでください。サマータイム実施期間になったら「SMT MA」に、サマータイム実施期間が終わったら「STD MA」に、それぞれ手動で切替えてください。
サマータイムが導入されていない地域で使用している	→ 「STD MA」を選んでください。

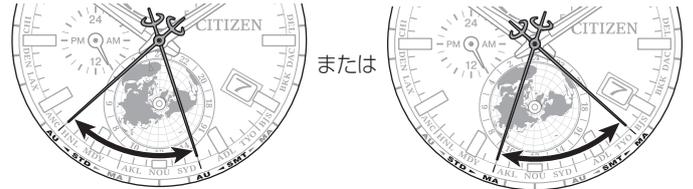
■ サマータイムと標準時刻の表示を変更する

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。

2 りゅうずを回して、表示時刻を選ぶ

・りゅうずを回すと、「SMT」と「STD」が切替わり、表示時刻も変わります。



3 りゅうずの位置を①にして終了する

通常表示に戻ります。

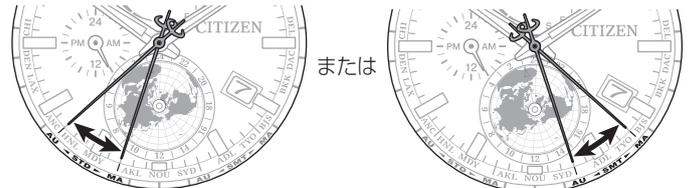
■ サマータイムと標準時刻の切替方法を変更する

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在のサマータイム設定を指します。

2 右下のAボタンを2秒間押して、切替方法を選ぶ

・右下のAボタンを2秒間押すことに、「AU」と「MA」が切替わります。



3 りゅうずの位置を①にして終了する

通常表示に戻ります。

北アメリカおよびヨーロッパでお使いの方へ

次の表に含まれるタイムゾーンでは、あるタイムゾーンでサマータイム信号を受信すると、同一受信局の他のタイムゾーンでも、サマータイムと標準時刻の表示が切替わります。

・あるタイムゾーンでサマータイム設定を「SMT MA」または「STD MA」に設定した場合は、そのタイムゾーンではサマータイム信号を受信してもサマータイムと標準時刻の表示は切替わりません。

受信局	タイムゾーン
アメリカ	-9/-8/-7/-6/-5
ドイツ	-1/0/+1/+2



電波を受信する

前回の電波受信の結果を確認する

1 りゅうずの位置を①にする

2 右下の④ボタンを押す

機能針が前回の電波受信の結果を指します。

OK		受信に成功しました。
NO		受信に失敗しました。

- もう一度ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。
- 電波の受信後にりゅうずを操作した場合、前回の受信結果にかかわらず機能針は「NO」を指します。

電波を手動で受信する

受信が完了するまでには2分から30分かかります。

1 りゅうずの位置を①にする

2 右下の④ボタンを2秒間押す

機能針が「RX」を指して電波受信が始まります。

3 電波受信しやすい環境に時計を置く

- 機能針が「RX」を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。
- 受信が終わると通常表示に戻ります。

■ 受信を中断したいときは

機能針が「RX」を指している間に、右下の④ボタンを2秒間押すと、受信が中断され、通常表示に戻ります。

電波受信について

電波受信の種類

この時計は、次の3つの方法で電波を受信します。

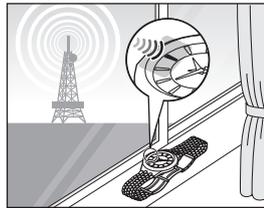
タイプ	用途
定時受信	一日に一度、夜間に自動で受信します。
手動受信(強制受信)	必要なときに、手動で電波受信を始めることができます。
復活自動受信	充電不足により時計が止まった場合に、十分に充電されると、自動で開始されます。

- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じることがあります。
- 標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。

電波を受信するときは

標準電波を受信するときは、りゅうずの位置を①にして時計を腕から外し、窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。

- 窓ガラスに網が入っている場合は、窓を開けるか場所を変えてください。
- 電波受信用のアンテナは、この時計の9時位置に組み込まれています。時計の9時位置を電波送信所の方向に向けて置いてください。
- 電波の受信中は時計を動かさないでください。
- 秒針が2秒ごとに動いているとき(充電警告中)は、電波受信は行われません。先に、充電を行ってください。



受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

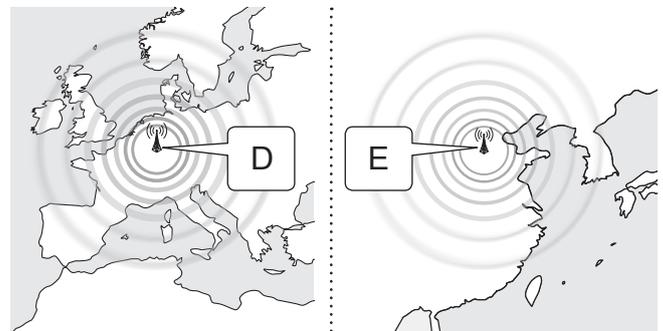
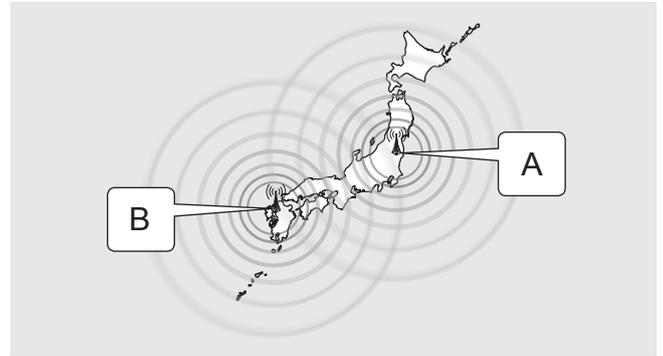
- 極端に高温や低温の場所
- 乗り物の中
- 電化製品やOA機器の近く
- 高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く
- 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下
- 通信中の携帯電話やスマートフォンの近く

標準電波について

この時計は、世界4地域5局の標準電波送信所から送信される時刻情報を受信し、時刻とカレンダーを自動修正する電波時計です。

	送信所	標準電波	受信可能な距離
A	日本 おおたかどや山標準電波送信所(福島局)	JJY	半径約1,500km
B	日本 はがね山標準電波送信所(九州局)		半径約2,000km
C	アメリカ フォートコリンス送信所(コロラド州デンバー)	WWVB	半径約3,000km
D	ドイツ マインフリンゲン送信所(フランクフルト南東)	DCF77	半径約1,500km
E	中国 河南省商丘市送信所	BPC	半径約1,500km

- 距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候(雷など)などの影響により、変化する場合があります。



時刻・カレンダーを手動で合わせる

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が現在のタイムゾーン設定を指します。



2 右上の②ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が30秒を指します。



3 りゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指し、分針が少し動きます。



4 右上の②ボタンをくり返し押し、合わせる針/表示を選ぶ

- ・右上の②ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切替わります。
時/分 → 日 → 曜 → 年/月 → (始めに戻る)
- ・針を合わせるときは、その針が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- ・日表示を合わせるときは、機能針が「RX」を指します。

5 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

- ・時針/分針/24時間針は連動します。
- ・午前/午後は、24時間針で確認します。
- ・日表示は、機能針が5回転すると切替わります。
- ・時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

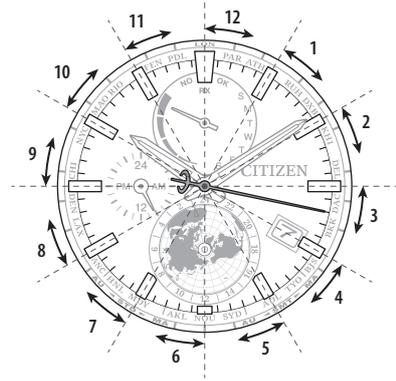
6 手順4と5をくり返す

7 時報に合わせて、りゅうずの位置を④にして終了する

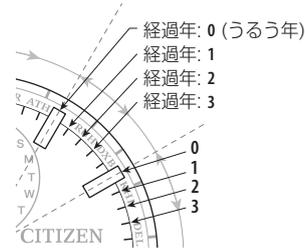
設定した時刻に合わせて北半球板が動きます。

年と月の設定について

カレンダーを正しく表示させるために、年と月を秒針の位置で設定します。「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



年		経過年	秒針の位置
2024	2028 2032 2036	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2025	2029 2033 2037	1	1目盛り目
2026	2030 2034 2038	2	2目盛り目
2027	2031 2035 2039	3	3目盛り目

例: 2024年5月を設定するときの秒針の位置

2024年は、表より経過年が「0」なので、秒針は、5月の範囲の最初の目盛りを指すことがわかります。

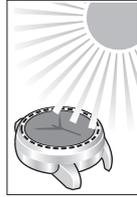


充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 週に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5～6時間直射日光に当てる
- 光の当たらない場所で長期保管をしない



注意

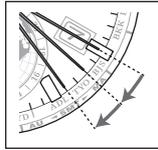
- 故障の原因となりますので高温下(約60°C以上)での充電はおやめください。
- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- 充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が2日間以上続くと、充電不足で時計が停止します。



■ 充電警告中(2秒運針中)は

時刻・日は正しく表示されます。その他の機能は使用できません。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	2分	2.0時間	40時間
屋外(曇天)	10,000	12分	2.0時間	50時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	40分	3.5時間	—
屋内照明	500	4.0時間	13時間	—

- 直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

■ 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまでの期間

約6ヶ月

パワーセーブ機能

暗所などで時計が発電できない状態が続いたとき、節電のために針を自動で停止させる機能です。

- パワーセーブ中も、時計は正しく動作しています。ただし、電波受信は行われません。
- りゅうずの位置が①や②のとき、パワーセーブ機能は動きません。

■ パワーセーブを解除するには

時計を操作するか、文字板に光が当たって発電が始まると、パワーセーブは解除され、通常の表示に戻ります。

困ったときは

■ 電波受信ができない

時計の状態	対処方法	ページ
秒針が「RX」を指さない	充電が必要なときは、先に時計を充電します。	7
	りゅうずの位置を②にします。 時計の現在の基準位置を確認し、正しくない場合は修正します。	5 8
受信しても、受信結果が「NO」になる	タイムゾーンの設定を確認します。	3
	電波受信が可能な地域を確認します。	5
	電波を受信するときは、時計を腕から外し、電波送信所方面の窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。	5

■ 針の動きがおかしい

時計の状態	対処方法	ページ
秒針が2秒ごとに動く	充電警告機能が働いています。時計の充電量が残りわずかです。すぐに充電してください。	7
秒針が動かない	りゅうずの位置を②にします。	—
すべての針が動かない	秒針が1秒ごとに動くまで、直射日光で充電します。	7
針が急に高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻・カレンダーが表示されるまでお待ちください。	7

■ 時刻やカレンダーがおかしい

時計の状態	対処方法	ページ
時刻・カレンダーが正しくない	タイムゾーンの設定を確認します。	3
	サマータイムの設定を確認します。	4
	電波を受信して、時刻・カレンダーを合わせます。	5
	手で時刻・カレンダーを合わせます。 基準位置を確認・修正します。	6 8
時刻・カレンダーを手動で合わせても、すぐに正しくなくなる	基準位置を確認・修正します。	8
サマータイム・標準時刻が、自動で切替わらない	サマータイム設定を「SMT AU」または「STD AU」にして、電波を受信します。	4
	サマータイム実施地域で、電波受信をします。	5
サマータイム実施期間中なのに標準時刻が表示される	電波を手動で受信します。	5
	サマータイム設定を「SMT MA」に変更します。	4
サマータイム実施期間中ではないのにサマータイムが表示される	電波を手動で受信します。	5
	サマータイム設定を「STD MA」に変更します。	4

基準位置を確認・修正する

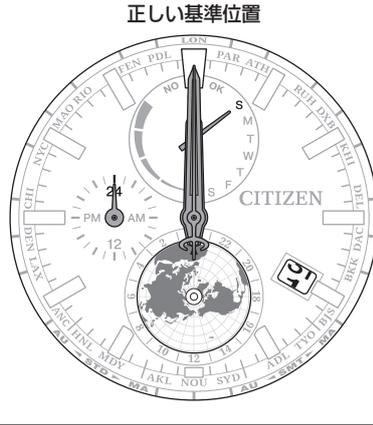
時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

- 各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- 北半球板の位置: 矢印が真上
- 機能針の位置: 「S」(日曜日)
- 日表示の位置: 「31」と「1」の間
- 時針/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
- 24時間針の位置: 「24」



1 りゅうずの位置を①にする

2 右上の③ボタンを10秒間以上押す

- 各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
- 針が動き出したらボタンを離します。

3 上の図を参考に、基準位置を確認する

正しい	右上の③ボタンを押して、終了します。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。

4 りゅうずの位置を②にする

北半球板が少し動き、北半球板の基準位置の修正ができるようになります。



5 右上の③ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切替わります
北半球板 → 機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
- 針/表示が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。

6 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 北半球板の基準位置を修正するときは、りゅうずを反時計回りに回してください。
- 機能針/日表示の基準位置を修正するときは、りゅうずを時計回りに回してください。
- 日表示は、機能針が5回転すると切替わります。
- 時針/分針/24時間針は連動します。

7 手順5と6をくり返す

8 りゅうずの位置を①にする

9 右上の③ボタンを押して終了する

通常表示に戻ります。

オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。
8ページの手順5以降をご覧ください。

2 タイムゾーンを設定する

3ページをご覧ください。

3 時刻・カレンダー合わせをする

電波を手動で受信して合わせる場合→5ページ
手動で合わせる場合→6ページ

1 りゅうずの位置を②にする

秒針がサマータイム設定を、機能針が充電量を指します。



2 ④ボタンと③ボタンを同時に4秒間以上押して、離す

針/表示が動き始め、オールリセットが行われます。針/表示の動きが止まるまでお待ちください。

オールリセット後の各設定

時刻	午前0時00分0秒
年月日	うるう年の1月1日
曜	日曜日
ワールドタイム	タイムゾーン0
サマータイム	全てのタイムゾーンで、「STD AU」

エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけておいてください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
- 例)
 - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
 - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- ・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されると、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり時計の持続時間が短くなることがあります。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- ・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- ・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んででも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

⚠ 警告 防水性能について

- ・時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST(ANT)×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できませんが、素潜り(スキndaイビング)やスクーバ潜水などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できませんが、スクーバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示	仕様	使用例					
	文字板または裏ぶた		水がかかるとの程度(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキndaイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベ使用のスクーバ潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。	濡れたままのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水	○	×	×	×	×	×
	W. R. 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	W. R. 10 bar	10気圧防水、20気圧防水	○	○	○	×	×	×
	W. R. 20 bar							

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
- ・水分のついたまま時計の操作(りゅうず、ボタンなどの使用)をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- ・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- ・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- ・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- ・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様で作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中での使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないうまにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回らせたり、プッシュボタンを押しててください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ・ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- ・汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- ・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- ・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご購入・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>

・防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	H864	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差±15秒 常温(+5℃~+35℃)携帯時		
作動温度範囲	-10℃~+60℃		
表示機能	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻: 時・分・秒・24時間・UTC表示 ・カレンダー: 日・曜 		
持続時間	<ul style="list-style-type: none"> ・充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで: 約6ヶ月 ・パワーセーブ機能が1日中作動する場合: 約2.5年 ・充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約2日 		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		
付加機能	<ul style="list-style-type: none"> ・光発電機能 ・過充電防止機能 ・充電警告機能(2秒遅針) ・充電量表示機能(4段階) ・パワーセーブ機能(節電機能) ・電波受信機能(定時受信/強制受信/復活自動受信) 対応局: 日本局(東/西)/アメリカ局/ドイツ局/中国局 ・受信局自動選択機能(日本標準電波専用) ・受信中表示機能(RX) ・受信結果表示機能(OK/NO) ・ワールドタイム機能(26タイムゾーン) ・サマータイム機能(サマータイム/標準時刻切替、自動/手動切替) ・パーペチュアルカレンダー(2100年2月28日まで) ・Perfex(パーフェックス)—JIS1種耐磁性能/衝撃検知機能/針補正機能 		

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

